平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月8日

上場会社名　井上金属工業株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6246　URL　http://www.inokin.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 高橋　進
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 杉野　博昭　TEL 06-6253-7200

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	3,520	142.5	338	―	352	―	193	―
23年3月期第1四半期	1,451	△45.8	△31	―	△23	―	△37	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	18.22	―
23年3月期第1四半期	△3.57	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	15,796	8,397	53.2	792.34
23年3月期	14,392	8,249	57.3	778.39

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期 8,397百万円　23年3月期 8,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	2.50	―	5.00	7.50
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		4.00	―	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,400	117.5	550	547.8	550	496.3	320	―	30.19
通期	17,500	91.6	1,200	164.1	1,200	155.1	700	197.4	66.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期1Q	10,821,720 株	23年3月期	10,821,720 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	223,639 株	23年3月期	223,639 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期1Q	10,598,081 株	23年3月期1Q	10,599,874 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
４．補足情報 …… 7
品目別売上高、受注高、受注残高 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

①経済情勢および業界の状況

わが国経済は、各種メーカーを中心とした生産ラインの前倒しの復旧活動により、東日本大震災前の水準に戻りつつありますが、依然厳しい状況が続いています。また、海外の中で特に新興国の景気回復による輸出の伸びに緩やかな景気回復基調の兆しが見え始めましたが、円高や雇用情勢については依然厳しく、景気は不安定な状況で推移しました。

このような環境下、当社は液晶テレビ用フイルム業界、高機能携帯端末用フイルム業界および化工機器業界で売上を伸ばすことができました。

②売上および損益の状況

売上高は、3,520百万円(前年同期比142.5%増)となりました。最終製品別売上構成比率は、薄型表示部品関連機器が37.2%(前年同期は31.4%)、機能性紙・フイルム関連塗工機器が23.0%(前年同期は7.5%)、化工機器が21.4%(前年同期は2.1%)となりました。売上高に占める輸出の割合は、41.4%(前年同期は32.6%)となりました。売上総利益は、512百万円(前年同期比266.4%増)、売上総利益率は、14.5%(前年同期は9.6%)となりました。これは主に全社的に原価低減に取り組んだことによるものです。販売費及び一般管理費は、174百万円(前年同期比1.5%増)でほぼ前年同期と同額となりました。営業利益は、338百万円(前年同期は営業損失31百万円)、経常利益は、352百万円(前年同期は経常損失23百万円)となりました。特別損失に投資有価証券評価損として21百万円を計上した結果、四半期純利益が193百万円(前年同期は四半期純損失37百万円)となりました。

③受注の状況

受注高は、4,110百万円(前年同期比29.8%減)、その内輸出受注高は1,243百万円(前年同期比68.7%減)となりました。受注残高は8,409百万円(前年同期比32.6%増)、その内輸出受注残高は2,095百万円(前年同期比48.3%減)となりました。

個別の受注金額については、中国市場を最終需要先とした国内企業をはじめ、韓国、中国、台湾の企業でも大変厳しいものとなっています。また現在の円高の状況は、今後の受注や収益にも大きく影響してくるものと考えております。品目別内訳は、スマートフォンなどの高機能携帯端末や液晶テレビなど薄型表示部品用の光学フイルム塗工装置、太陽光パネルや二次電池用などのエネルギー関連部材用塗工装置ならびにタッチパネル用ハードコートフイルム等の塗工装置が大半を占めております。受注環境としては、CO2削減という国際公約はもとより、震災復興の関連からも環境関連やエネルギー関連の投資は続くものと考えております。

（２）財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

総資産は、15,796百万円(前期末比9.8%増)となりました。これは主に現金及び預金と売上債権の増加によるものです。負債は、7,398百万円（前期末比20.4%増）となりました。これは主に仕入債務および借入金の増加によるものです。純資産は、8,397百万円(前期末比1.8%増)となりました。自己資本比率は、53.2%(前期末は57.3%)となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

大幅な円高や電力不足の懸念など設備機械業界には厳しい逆風となっていますが、経済成長が望める新興国を中心とした海外展開を今後も計っていく予定です。また、当社はすべての輸出が円建てのため急激な足元の円高による影響は限定的と考えられます。

当初の業績予想は、東日本大震災の影響も十分に把握できない状況下でのもので、外注先の変更有無や復興優先による部材の調達難、またリードタイムの長期化など様々なリスクを加味し、厳しいものとなっていました。実際の影響は、限定的であり、さらに大口受注の輸出案件での原価低減により、利益を上げることができました。また前期の後半に比べて、当期の第１四半期は国内外で受注が好調に推移しているところから第２四半期累計期間及び通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成23年８月８日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,871,611	4,593,788
受取手形及び売掛金	5,518,535	6,302,977
仕掛品	222,894	259,774
原材料及び貯蔵品	42,046	54,458
その他	193,805	104,699
流動資産合計	9,848,893	11,315,698
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	984,950	973,308
機械及び装置（純額）	379,662	368,592
土地	1,836,867	1,836,867
その他（純額）	134,045	110,332
有形固定資産合計	3,335,526	3,289,101
無形固定資産	37,464	33,231
投資その他の資産		
投資有価証券	703,227	694,774
その他	469,574	465,631
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	1,170,501	1,158,105
固定資産合計	4,543,493	4,480,439
資産合計	14,392,386	15,796,138
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,707,617	4,252,771
短期借入金	531,832	905,084
未払法人税等	32,394	139,586
前受金	458,865	351,078
引当金	77,568	64,284
その他	128,316	250,664
流動負債合計	4,936,594	5,963,470
固定負債		
長期借入金	59,045	283,002
退職給付引当金	480,666	485,694
資産除去債務	8,898	8,898
その他	657,750	657,750
固定負債合計	1,206,359	1,435,344
負債合計	6,142,953	7,398,815

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,003,125	1,003,125
資本剰余金	515,858	515,858
利益剰余金	5,883,584	6,023,671
自己株式	△108,082	△108,082
株主資本合計	7,294,485	7,434,572
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,344	18,147
土地再評価差額金	944,602	944,602
評価・換算差額等合計	954,946	962,750
純資産合計	8,249,432	8,397,322
負債純資産合計	14,392,386	15,796,138

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	1,451,907	3,520,665
売上原価	1,312,126	3,008,541
売上総利益	139,781	512,123
販売費及び一般管理費	171,502	174,020
営業利益又は営業損失（△）	△31,721	338,103
営業外収益		
受取利息	859	481
受取配当金	9,586	10,497
その他	1,968	6,576
営業外収益合計	12,414	17,554
営業外費用		
支払利息	2,652	2,511
その他	1,505	375
営業外費用合計	4,158	2,887
経常利益又は経常損失（△）	△23,465	352,770
特別損失		
投資有価証券評価損	－	21,894
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,998	－
特別損失合計	22,998	21,894
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△46,463	330,876
法人税等	△8,590	137,799
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△37,872	193,077

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

４．補足情報
品目別売上高、受注高、受注残高

（単位：千円、％）

品目		前第１四半期 自平成22年4月１日 至平成22年6月30日		当第１四半期 自平成23年4月１日 至平成23年6月30日		（参考） 自平成22年4月１日 至平成23年3月31日	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	塗工機械	1,371,210	94.4	2,665,543	75.7	7,496,398	82.1
	化工機械	43,840	3.0	818,123	23.2	1,453,501	15.9
	その他	36,857	2.6	36,997	1.1	182,388	2.0
	計	1,451,907	100.0	3,520,665	100.0	9,132,289	100.0
	内輸出高	473,903	32.6	1,456,105	41.4	4,427,736	48.5
受注高	塗工機械	3,379,783	57.7	3,986,158	97.0	11,904,890	79.3
	化工機械	2,421,460	41.4	82,350	2.0	2,924,578	19.5
	その他	52,484	0.9	41,919	1.0	183,567	1.2
	計	5,853,727	100.0	4,110,427	100.0	15,013,036	100.0
	内輸出高	3,980,100	68.0	1,243,940	30.3	6,188,232	41.2
受注残高	塗工機械	3,833,474	60.5	7,554,007	89.8	6,233,393	79.7
	化工機械	2,480,980	39.1	838,663	10.0	1,574,436	20.1
	その他	26,260	0.4	16,733	0.2	11,812	0.2
	計	6,340,714	100.0	8,409,404	100.0	7,819,642	100.0
	内輸出高	4,053,812	63.9	2,095,946	24.9	2,308,111	29.5